



ひがしの

研究発表会を終えて

校長 岩井 裕美

11/13 は令和3・4・5年度 恵那市教育委員会指定研究発表会でした。約100人のお客様に道徳科の授業を見ていただきました。岐阜県ではインフルエンザ注意報が出ており、本校でも前の週には風邪等で児童や職員に欠席があり心配しましたが、当日は全職員、そして全児童でここまで取り組んだことを見ていただけました。学習委員会を中心に高め合った「話す姿」「聴く姿」を含め、子供たちはたくさん褒めていただき、自信を高めました。



教科書から離れ、心の動きを自分の頭で考えることを大切にしたい、まさに「道徳科」の授業でした。相手の意見を聞く子供たちの目も生き生きとして、自分と違った考えを聞くことも楽しそうな姿が印象的。しっかりと対話ができおり、認め合う所から、子供たちの主体性も育っている嬉しさも感じます。また、自分の意見を言葉にしにくい子の考えも全体に共有する配慮もよかったです。教師の一言で子供の意見がぐっと深まる場面もありました。分析・実践・考察がとても丁寧に行われ、意義のある研究発表会となり、お礼申し上げます。

一教育委員 感想用紙より

市の指定研究発表会を受け、何を研究するかは学校に任されています。東野小はよりよい生き方を考え合う「道徳科」を選んで3年間の研究実践を積み上げました。その成果の一部を紹介します。

